

よしかわ 議会だより

NO.177
平成30年5月1日



発行：吉川市議会
編集：吉川市議会広報委員会
〒342-8501 吉川市吉川二丁目1番地1
TEL & FAX (982) 9421
http://www.city.yoshikawa.saitama.jp



新庁舎3階議場のようす

平成30年度予算 一部修正のうえ可決

新しい正副議長が 決まりました

互金次郎議長、稲葉剛治副議長が2月5日に辞職し、新たに中嶋通治議長、五十嵐恵千子副議長が就任しました。



中嶋 通治
議長



五十嵐 恵千子
副議長

◆就任にあたって◆

この度、議長・副議長の就任に際し一言ご挨拶を申し上げます。議会に対する市民の皆様方の期待も大きなものがあり、その責任も一段と重いものがあると認識をしています。

本市では人口増に伴い、多様化する市民ニーズに対応べく執行機関と議会が一丸となり、市の発展と住民福祉の向上を目指し更に取り組んで参ります。

今号の主な内容

- 平成30年度予算を可決……………①
- 施政方針に会派代表者が問う！……………②
- 答えて市長！一般質問……………③
- 常任委員会の審査から……………④
- 審議結果・編集後記……………⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧

3月定例会の概要

3月定例会は、2月23日から3月20日までの26日間にわたり開催されました。

市長提出議案35件中、34件は原案のとおり可決・同意し、残る1件については、議案の一部について修正した議員提出による修正案を可決しました。その他5件の議員提出議案を上程し、すべて可決しました。

また、3日間にわたり行われた「市政に対する一般質問」では、16人の議員が市政全般にわたり市の見解をただしました。

市長提出議案

新年度一般会計予算
228億9696万

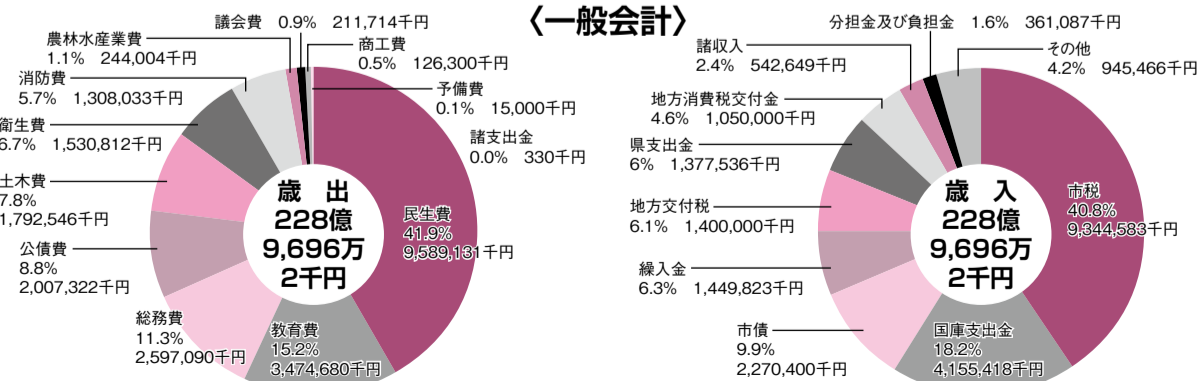
2000円でスタート

一般会計の予算は、前年比11・1%減の228億9696万2000円となり、第5次総合振興計画後期基本計画の効果的な実施に向け、様々な事業が展開されます。

市長提出議案

次ページへ続く

〈一般会計〉



マチイロ

検索



討論

◆平成30年度吉川市一般会計予算に対する修正案

平成30年度一般会計予算案から「市民交流センターおあしす」の改修費8703万8000円を削除する修正案が文教福祉委員会に提出され、賛成多数により可決しました。その後、本会議での採決も賛成多数で可決となりました。

この修正案に対する討論の要約は次のとおりです。

反対 未来会議よしかわ 戸田 馨

「市民交流センターおあしす改修事業」について、責任をもち議決に臨み、賛成の立場を示してきた。大前提として「おあしす改修事業」に対し、市は様々な広聴の機会を設定し、市民の声を直接聞いてきていると認識している。修正案の提案理由である「市民の声を十分に反映できていない」「市民や関係団体の理解を深めてからの事業化」という主張は、これまで自らが行ってきた議決に対し整合性にかけるものである。そして修正案が一体「誰」に対して「幸福」をもたらすのか私達には見えない。以上のことから反対とする。

賛成 市民の会・無所属 岩田 京子

おあしすは市民参画の拠点として、市民と共に育まれてきた。私達は9月議会で設計に賛成したが、福祉の視点の課題も多く、10月に市長に対し①市民もメンバーの「(仮称)おあしす検討委員会」の設置②関係団体との丁寧な協議を求め、その上での工事着工を要望した。

その後、全戸配布で意見募集がされたが、一方的な市の見解と「概ね賛成」の判断がされた。他様な事を鑑み「工事中の段階ではない」と判断した。当事業は深みのある市民参画により、市民との十分な共通認識と信頼の醸成が大前提である。

賛成 日本共産党吉川市議員団 雪田 きよみ

市は昨年12月末から今年1月にかけて、おあしす改修に対する意見を募集した。29件の意見が寄せられ、市は概ね賛成と認識し、予算計上に繋がった。

しかし意見の中には重要な指摘も多い。おあしす運営協議会を開催し、検討すべき内容だ。こうした手続きを怠り予算計上する姿勢からは、おあしす改修が執行側の意向で進められようとしている印象を拭うことはできない。

寄せられた意見について、まずしっかりと市民と共に話し合い、みんなが納得できる方向を模索するべきである。

◆(修正部分を除いた)平成30年度吉川市一般会計予算修正部分を除く平成30年度一般会計予算は、賛成多数で可決となりました。

この一般会計予算に対する討論の要約は次のとおりです。

反対 日本共産党吉川市議員団 遠藤 義法

市が保育に責任を負わず、民間頼みの姿勢を取り待機児童解消に至っていない。第二保育所の改築を実施、量と質の確保を図るべきである。昨年12月からタクシーチケット助成制度が試行、この点は評価する。しかし制度は限定的であり、すべての高齢者の要望に応える事業となっていない。昨年9月に全会派から提出された小中学校普通教室へのエアコン設置が一部のみで他の計画が示されていない。教育環境が不均衡。市長の政治姿勢が問題。市民参画といながら団体や市民の声が事業に反映されないまま進められている。

賛成 公明党吉川市議員団 互 金次郎

特に評価した事業を述べます。①中学校建設は、地域開放に工夫、防災拠点としての整備、周辺環境配慮が具現化されました。

②避難行動要支援者や自治会長、民生委員に対し「電話による一斉情報伝達システム」導入は、災害弱者に安心をもたらす

実践的な取り組みです。③保育士確保策としての「宿舎借り上げ支援」「奨学金返済に対する補助」の事業実施は、保育士不足解消につながるものと期待します。

④文化芸術振興条例の策定は、じっくり、前向きに検討したいとの答弁は、積極的な見解です。

賛成 未来会議よしかわ 稲葉 剛治

「価値ある未来をともし」を合言葉とし、市民からの要望やご意見を丁寧聞きながら、スピード感を持ち政策決定を行い、吉川市の三大事業である新庁舎建設、吉川美南駅東口開発、新中学校建設という長年の課題が解決。この結果はこれからの吉川市のまちづくりが今まで以上に、市民の皆さまと共に進めていくという事の表れだという事だと捉えている。「市民の幸福実感を追及する」、「市民との共動によるまちづくりを推進する」ことを柱に、市民の皆さまの心に多くの花が咲くような吉川市になっていく事を期待する。



吉川中学校完成予想図

市長提出議案

平成30年度一般会計
こんな事業を実施します

防災対策事業

1億8301万円

地域防災計画の改定や耐震性貯水槽の整備などを行います。



中学校建設事業

11億3789万
6000円

平成32年開校予定の吉川中学校の施設整備工事などを行います。

◆吉川市における幸福実感向上を目指したまちづくりのための産業振興基本条例の制定
産業振興施策を総合的に推進し吉川市の発展を図り、事業者、勤労者及び市民の幸福実感向上を目指したまちづくりを推進します。

特別会計など 新年度予算決まる

6つの特別会計と水道事業会計の平成30年度予算は差表の通り決まりました。

会計別	予算額(千円)	前年度比(%)
国民健康保険	6,878,206	△18.5
下水道事業	1,247,777	△7.4
農業集落排水事業	29,647	△5.1
介護保険	3,745,031	10.4
後期高齢者医療	640,588	14.6
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	1,363,674	78.5
合計	13,904,923	△4.3

●水道事業会計	
収益的収入及び支出	予算額(千円)
水道事業収益	1,553,425
水道事業費用	1,531,714

●特別会計	
資本的収入及び支出*注	予算額(千円)
資本的収入	204,192
資本的支出	793,907

注：水道事業会計において資本的収入が資本的支出に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補てんする。

人事案件

◆副市長

平成30年3月31日に任期満了となる榎葉祐司氏が、再度選任されました。

中原市長の施政方針に 会派代表者が問う！

- ◆市長の施政方針より◆
- ▼市民の安全・安心を高める
- ▼子どもの笑顔で満たされるまちをつくる
- ▼まちの価値を高める
- ▼まちの住みよさを高める

「市民の幸福実感を追及すること」「共働によるまちづくりを推進すること」を柱に、「価値ある未来を」をこの吉川に創り上げられるよう全力で取り組んでまいります。

自由民主党吉川市議員団

松崎 誠

市民の会・無所属

伊藤 正勝

公明党吉川市議員団

互 金次郎

日本共産党吉川市議員団

小林 昭子

未来会議よしかわ

戸田 馨

問 防災プロジェクトについて三輪野江小学校区では、大震災を想定し開催されますがその内容について伺います。

答 避難生活支援を行うためにも基本的には避難所避難を推奨する啓発活動を訓練メニューに加える等の検討をします。

問 治水について、具体的な取り組みについて伺います。

答 木売却しでは現在、どのような構造にすべきか検討を進めており早期に着手できるように進めてまいります。

問 待機児童の解消に向けた取り組みと将来展望についての見解を伺います。

答 認定こども園と認可保育所2園を整備し約200名分の定員を確保してまいります。

問 「東埼玉テクノポリスの拡張」の取り組みを伺います。

答 東埼玉テクノポリス協同組合などの拡張意向等の状況把握に努めてまいります。

問 市長就任3年。総括し決意と所感を。横断的事業、人、物、金の活用。市民との共働や情報の共有とも関連し予算編成のポイントについて伺いたい。

答 新庁舎等3大事業の進展。人事政策や組織改編。産業振興と芸術文化施策強化の方針。庁舎跡地等施設、用地の運用についての考えも伺いたい。

問 各分野にわたり数十項目質問。種はまかれています。耕し肥料をまき、時には間引きも。信頼の土壌の上に収穫の喜びを迎えられるようにと要望する。

答 新庁舎、新中学校、東口開発は円滑に進むよう尽力。所要の予算を計上。新しい事業も様々に取り組んできた。総合振興の後期基本計画、総合戦略、教育大綱等の計画策定にも努めた。これを柱に市民との共働によるまちづくりを総合的に展開したい。

問 新規の事業は保育士の人材確保や教育現場の事務負担軽減。親水事業は川の郷を実感できる横断的の事業として展開する。市民ニーズを的確にとらえ文化、産業の振興。危機管理や公共交通整備、公園再生などに力を注ぐ。地域の支え合い、情報交換や連携に努め価値ある未来へつなげたい。

問 新中学校建設の地域開放に工夫した設計、防災拠点としての整備、周辺環境配慮の内容は。

答 体育館と武道場は一般開放できるように学校管理部門とセキュリティで分離できます。

問 また、屋上プールの水を利用したマンホールトイレ、調理室や給食受領ホールを避難所となる体育館等の近くに配置します。

答 それぞれの補助拡充については考えていない。

問 産業振興計画における農業部門では、農業者が農業で生計が立つ支援を。

答 振興策は農地確保と保全、販路拡大等基本的な方針となる。

問 「改正労働契約法」で4月から非正規労働者への無期転換が図れる。相談など支援体制は。

答 これまで同様に相談窓口を設け、適切な対応で支援する。

問 市長は災害時「自助・共助の意識向上」と強調するが、公助との連携が基本では。住宅耐震化、家具転倒防止器具の設置を進める為に補助金等の拡充を。

答 それぞれの補助拡充については考えていない。

問 三輪野江地区産業街づくり地区の特性を地域住民と市民全員に共有される事が重要。

答 元氣・健やか・健康福祉部門では、高齢者に大きな負担となつている国保税・介護保険料の軽減が課題では。

問 おあしす改修における「はーとふるぽつと」の方向性は。

答 平成29年12月21日に施設側が開催した保護者説明会で、改修の趣旨や今後の考え方について説明させていただく中、市の考えについてご理解をいただいたと認識している。その後開催された施設主催の検討委員会、新庁舎での軽食等の販売や、おあしす等でのワゴン販売を行つていく旨の決定があったと聞いている。市では障害者の就労支援を考える検討委員会でも、引き続き障害者の就労支援について積極的に取り組んでゆく。

問 吉川美南駅東口周辺開発における企業誘致の進捗状況、文化振興拠点の構築の方向性と進捗状況は。

答 まちづくりコンセプトである「笑顔と緑あふれるみんなの庭」をもとに、市の新たな玄関口にふさわしく、地域の魅力づくりを担っていただける企業の誘致を目指す。商業・業務ゾーンについては、近隣の大型商業施設と差別化を図るため、文化施設の導入を含めた企業の立地を目指し、意見交換を行っている。

議員提出議案

意見書

今定例会では、次の4件を上程し、いずれも可決、内閣総理大臣等へ送付しました。

- バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書
- 性暴力被害者のための『ワンストップ支援センター』の周知と増設を求める意見書
- 主要農作物種子法廃止に際し、公共財としての日本の種子を保全する参議院での付帯決議基づく新たな整備と積極的な施策を求める意見書
- 子供の医療費の負担軽減に関する意見書

決議

今定例会では、1件を上程し、可決しました。

埼玉県議会による原発再稼働を求める意見書の撤回を求める決議

ホームページ

「かっ、んぎょんねっ！」

市のホームページでは、意見書の全文や会議録などがご覧いただけます。ご利用ください。



吉川市議会



答えて市長！

一般質問

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたって、市の見解をいただきました。その主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。会議録はホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は6月上旬となる予定です。

障がいをもつ子どもの

家族に対する支援について

林 美希

問 保護者は「子どもの一番身近な支援者」であり、「保護者自身もまた支援されるべき存在」であると考えます。第4次吉川市障がい者計画において家族への支援の必要性とその根拠を明記していただきたいかがか。

答 吉川市障がい者計画において家族への支援の必要性とその根拠を明記していただきたいかがか。

問 療育と「保育」を必要とする家庭への吉川市の対応は。

答 療育と「保育」を必要とする家庭への吉川市の対応は。

問 移転に伴う設備面の変更は。

答 移転に伴う設備面の変更は。

問 移転に伴った環境の変化や準備について不安を感じる方への配慮を丁寧にしていただきたかと考えるが、いかがか。

答 移転に伴った環境の変化や準備について不安を感じる方への配慮を丁寧にしていただきたかと考えるが、いかがか。

問 吉川市におけるペアレントメンター（発達障がい児育児経験と相談支援に関する研修を受けた者）の取り組み状況は。

答 吉川市におけるペアレントメンター（発達障がい児育児経験と相談支援に関する研修を受けた者）の取り組み状況は。

問 「第7期介護保険事業計画の概要とネライ」は

答 健康長寿部長 平成30年から32年までの高齢者福祉施策及び介護保険制度運用の基本的考え方や目標を定め、その実現に向けた施策の体系、取り組みの方向性を示すことが目的。

稲垣 茂行

第7期介護保険事業計画と地域包括ケアシステムの構築

問 介護予防・日常生活支援総合事業の課題、問題点は

答 健康長寿部長 平成29年4月より、市の実施事業として開始した。予防訪問・通所介護とも、従前の事業者がそのまま同等の基準で行っており、新たに開始した「短期集中予防サービス」も円滑に提供されている。

問 ケアプランのチェックは、「生活援助」の利用制限に繋がる事にならないか

答 健康長寿部長 訪問回数が多さで一律にカットせず、利用者の心身の状況や置かれている環境を丁寧に確認し、検証する。

降旗 聡

バス路線図表記を検討

公共交通の利用促進を

降旗 聡

問 市は、昨年12月から75歳以上で一部地域の方を対象に「タクシーチケットの助成事業」を試行しています。「公共交通網の整備」、「移動の権利の確保」といった点で評価しています。一方、対象外の地域の方々や仕事や観光などで訪れた方々に

市は、昨年12月から75歳以上で一部地域の方を対象に「タクシーチケットの助成事業」を試行しています。「公共交通網の整備」、「移動の権利の確保」といった点で評価しています。一方、対象外の地域の方々や仕事や観光などで訪れた方々に

は、市が言う「充実したバス路線網」のアピール不足で、公共交通が十分に活用されていないように見受けられます。

そこで、①吉川駅・吉川美南駅へ、観光マップを入れ込んだバス路線網のマップ設置。②事業者が重複するバス停を整理集約しバス路線網のマップ設置。

答 政策室長 ①現在、市ホームページへの路線図と時刻表の掲載のほか、一部の公共施設や吉川美南駅に時刻表を配置しています。今後、さらに数多くの公共施設や駅に路線図と時刻表を配置できるように調整を進めるとともに、路線図に市内観光施設の表記についても検討します。

②当市は、吉川駅が公共交通の結節点なので、その他の事業者が異なるバス停の集約とマップ設置は、現状では費用対効果などの面から難しいと考え、今後のバス路線網の状況の変化などを捉えて考慮します。

路線バスの利用促進は、利用者の関心を高めることが重要で積極的な情報発信に努めます。

問 この「届け出拳式」は、ブライダル専門情報誌会社の協力のもと議場等を使用しているとのことです。新庁舎開庁記念事業として「届け出拳式」を開催しては

答 政策室長 愛着をもてる庁舎

問 新庁舎開庁記念事業として「届け出拳式」を開催しては

答 政策室長 愛着をもてる庁舎

問 この「届け出拳式」は、ブライダル専門情報誌会社の協力のもと議場等を使用しているとのことです。新庁舎開庁記念事業として「届け出拳式」を開催しては

答 政策室長 愛着をもてる庁舎

問 新年度は三輪野江小学校にて「減災プロジェクト」が実施されます。当市、自主防災組織

結成の目的には賛同しながらも結成する事には躊躇する自治会があります。①吉川市自主防災組織結成数は。②自主防災への各種助成金と未結成の理由及び今後の取り組みは。③避難所に行かず自宅で避難生活する事が予想されず。家庭内備蓄「ローリングストック」や災害時でも手軽で温かい料理「パッククッキング」の推進を。④東京都は女性の視点から「東京くらし防災」を発行しました。当市も解りやすい「(仮)吉川くらし減災」の発行で自主意識向上を。

答 市民生活部長 ①旭地区は17の内5自治会。三輪野江地区は24の内3自治会。吉川中央地区は29の内25自治会。吉川南地区は21の内20自治会。吉川美南地区は4の内3自治会が結成。

問 健康長寿部長 ①その様な視点も踏まえながら検討する。

答 都市整備部長 ②土日駐車可の道路部分を平日駐車可の案を第一として警察と協議している。

③フェンスは修繕をする。簡易トイレは東側の未利用地の活用と合わせて研究。④倉庫設置は難しい、駐車場は引き続き検討

⑤防護ネットは難しい、凹凸は速やかに補修、除草は適切な時期に実施する。

問 新年度は三輪野江小学校にて「減災プロジェクト」が実施されます。当市、自主防災組織

結成の目的には賛同しながらも結成する事には躊躇する自治会があります。①吉川市自主防災組織結成数は。②自主防災への各種助成金と未結成の理由及び今後の取り組みは。③避難所に行かず自宅で避難生活する事が予想されず。家庭内備蓄「ローリングストック」や災害時でも手軽で温かい料理「パッククッキング」の推進を。④東京都は女性の視点から「東京くらし防災」を発行しました。当市も解りやすい「(仮)吉川くらし減災」の発行で自主意識向上を。

答 市民生活部長 ①旭地区は17の内5自治会。三輪野江地区は24の内3自治会。吉川中央地区は29の内25自治会。吉川南地区は21の内20自治会。吉川美南地区は4の内3自治会が結成。

②3つの助成金がある。今後も多様な機会を捉えて意識の向上と適切な助言・指導を行う。③他自治体の実施例や市民ニーズを踏まえ、周知・啓発を研究。

④「東京くらし防災」を活用した女性視点の減災対策を周知。

◆「収入保険制度」について

問 意欲ある農業者を下支えする当該事業の普及・推進を

答 市民生活部長 周知に努める。

問 意欲ある農業者を下支えする当該事業の普及・推進を

答 市民生活部長 周知に努める。

さらなる自助・共助 減災意識向上を

五十嵐 恵千子

問 新年度は三輪野江小学校にて「減災プロジェクト」が実施されます。当市、自主防災組織



市の財政力について

加藤 克明

問 今後の吉川市の財政は。
答(総務部長) 「健全化判断比率」は、国の基準を下回っており財政状況は健全を維持している。平成30年度は、新庁舎建設や吉川中学校用地購入に活用した市債の償還が開始されることから、公債費が増加している。「平成33年度・実質公債費比率・10%」を超えないよう、計画的な市債の活用を図り、健全な財政運営に努めていく。

問 新規事業・継続事業による今後の財政の圧迫はないか。
答(総務部長) 予算編成方針に基づき、新規事業・継続事業ともに多様化する市民ニーズ、行政課題の必要性を見定め予算化した。今後も健全な財政を維持し財源確保に努め「歳入に合った歳出」を原則に予算編成を行う。
問 小学校や駐車場など、毎年借地借上料が計上されている。今後、購入していく考えがあるのか。また財源の確保は。
答(総務部長) 借地購入などの対応については、現時点では借地購入する予定はない。今後、地権者の意向などにより緊急に買収する必要がある場合においては、公共施設整備基金の目的の中に「用地取得」を位置付けている。この基金の活用により対応していく。

地域に根差した実際に求められる防災対策を

濱田 美弥

問 美南小と吉川小で行われた減災訓練について、地域の方々の事前打ち合わせや事後の反省などをされたかと思うが、それぞれの地域から出た良かった点改善策などは。次回、三輪野江小での実施にあたって以前に行われた訓練での反省点は何かだったか、今回のように活かすか、三輪野江地区特有の考えうる問題点など具体的にお示し下さい。自治会内における具体的な安否確認方法・連絡手段の確認はなされているか。防災無線の聞き取りにくさの確認をお願いしたい。
答(市民生活部長) 自治会からは普段から実際に即した話し合いが必要、という意見があった市としては公的機関との連携が図れたこと、自助公助の意識が芽生える機会となったと評価。反省点は吉川小学校への周知が足りず当日保護者や児童の参加が少なかった事。三輪野江地区範囲が広範で避難場所への移動が難しく救援物資の配送配給など、これから自治会と協議・意見交換していく。避難行動要支援者名簿を作成し自治会長などへ配布、安否確認をして頂くお願いをしている。防災無線が聞き取りづらい方には電話応答サービスで情報発信するほか、今後一斉情報伝達・収集シ

介護保険制度改定、ケアプランは利用者本人のものとの教育を

雪田 きよみ

問 今回の報酬改定では一定以上の「生活援助」を利用する場合、事前に市への届け出が義務付けられた。独居や認知症高齢者等、「生活援助」が必要な方々の援助が縮小されるリスクがある。市の見解は。
答(健康長寿部長) 利用者の心身の状況や置かれている環境を丁寧に確認し、自立支援・重度化防止に資するプランかの観点から検証していく。
問 ケアマネへの周知は。
答(健康長寿部長) ケアマネサロンにおいて周知徹底を図る。
問 ケアプランは利用者自身のもの。選択権がある。市民に対しこの点を教育するべきでは。
答(健康長寿部長) 利用者の自己決定権は担保されている。ホームページへの掲載の他、市の窓口など様々な機会をとらえ周知徹底していきたい。

◆木売落しの安全対策を
問 木売落しのガードレールを潜り抜けて、小学生が遊んでいてとても怖いとの声が寄せられている。安全対策への見解は。
答(都市整備部長) 木売落しは雨水排水のための施設。遊ぶ為の施設ではない。今後整備を予定している。同時に防護柵も検討

したい。それまでの間、注意看板などで注意を促したい。

手話言語条例制定を

稲葉 剛治

問 近年、手話が言語であるという理念を掲げた条例を制定する自治体が増えてきている。なぜ手話言語条例の制定が必要なのか。県の条例では「手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及に関し、基本理念を定め、ろう者とする者以外の者との共生することのできる地域社会の実現に寄与する」としている。耳が聞こえないだけでなく、発声も困難な方々にとつて、手話が言語であることを権利として認めることはとても重要である。その理念を掲げて多くの方々に広く認知いただくためにも、手話言語条例の制定が必要であると考える。手話言語条例の市の認識について伺う。
答(市長) 聴覚障害者協会の皆さんと意見交換を行い、手話サークルで手話を勉強させて頂き、手話が言語であるという認識、コミュニケーションツールとして共生社会の実現の為に非常に大きな可能性を秘めていると実感している。条例については実効性のあるものを策定していきたい。

国民健康保険税の子供の均等割減額を

佐藤 清治

問 国保加入者は所得が少ない方が多く、高い国保税の引き下げを求める声がたくさん寄せられています。
中でも子供が多い世帯では均等割が重くのしかかっています。全国の自治体では均等割の引き下げを子育て支援の観点から実施する自治体が増えていきます。吉川市でも実施すべきと考えますが。
答(健康長寿部長) 子育て世帯に係る均等割の負担軽減支援制度の創設については国に対して要望しているところであり、子供に均等割を課す現行制度の見直しについては国が責任をもつて取り組むものと捉えておりますので、引き続き国の動向を注視してまいります。

◆公園再生プロジェクトによる公園整備と駅南二郷半緑道再整備の考えは。

問 5ヶ年計画で7公園を整備する計画のようだが具体的な整備内容はどのようなものか。
駅南二郷半緑道の再整備の考えは。
答(都市整備部長) それぞれの公園にコンセプトを定め遊具やトイレの洋式化などを計画している。

問 厚労省から保育の潜在的需要を把握し、整備計画策定が求められている。実態把握と今後の整備計画は。保育の量の拡大とともに質も重要視されており、園庭確保等は不可欠といえる。今後の対応は。
答(子ども福祉部長) 保育ニーズの把握に努め、子育て安心プランの実実施計画について現在県と協議中。平成31年度210名分の定員増を図るべく整備費を来年度予算に計上している。保育の質は重要であり、弾力的運用もあるが保育士配置や園庭面積確保などの最低基準は満たしている。園庭確保について保育園開設にあたって考慮する。

保育の量と質の確保のために

遠藤 義法

答えて市長！一般質問

次ページへ続く

答えて市長！一般質問

前ページからの続き

◆子どもが持つ力を十分に発揮できる教育のために

問 文部科学省は、児童生徒は生活習慣の未確立、規範意識の低下など心の活力が弱まっている傾向があるとして教育基本法や学習指導要領を改正している。その検証が必要と考える。道徳教育などで事態を打開できるか
答 教育長 時代の変化や子どもたちの状況を学校関係者など幅広く協議し、課題の検証を踏まえてきた。未来にふさわしい学校教育のあり方を構築、積み重ねの上に学習指導要領が築かれてきている。さまざま実情があるので加味し、指導している。

2025年を前に所有者不明土地対策を

吉川 敏幸

問 昨年6月、所有者不明土地問題研究会は全国の所有者不明土地が九州を上回る広さに達していると独自の推計を公表した。
①市内の所有者不明土地は、
②所有者不明土地の最大原因である相続未登記の防止対策は、
③地籍調査の進捗状況は、
答 総務部長 ①852平米。
②相続時に周知。それでも未登記の場合は、相続人代表者指定届の提出を以て追跡している。
答 都市整備部長 ③昭和27〜30

年にかけて実施。その後は休止状態。市全体では約30%。

◆地元建設業者の育成・振興 積極的取組を

問 地域の基幹産業であり必要不可欠な地元建設業者の育成について、①ダンピング防止策として、低入札価格調査制度の導入は、②ゼロ債務負担行為の活用は、③週休2日を前提とした工期設定は、④各ランクの企業の参入機会を均等にすると対策は、⑤総合評価方式の件数を増やす考えは、
答 総務部長 ①総合評価方式で導入している。②予算全体の中で注意深くみていく。③国の動向を注視していく。④機会があれば対応していく。⑤どこでも市長等で意見交換をしてきた。今後も地元業者の育成にしっかりと取り組んでいく。

吉川市役所現本庁舎三億円もつたいない建物解体工事

齋藤 詔治

問 昨年の九月議会の質問で庁舎は、解体せず現三階建を平屋建に減築解体し多目的な活用をお願い致しました。今議会に解体費三億円が予算化された。本庁舎は建設後五十年経過の鉄筋コンクリート造・三階建です。

現庁舎は非耐震建物であり、安田が少ない近隣市等にこの機能をアピールできないか。また、「食べる」「販売」「使う」等の形で吉川産米を応援する仕組みで住民プライドを成就しては、
答 市民生活部長 他自治体への影響など、数値的根拠はないが、洪水防止機能や地下水の滋養機能等、農地の多面的機能が再評価されていることは認識している。紹介された様々な事例は参考にしたい。吉川が優良な農地の多い、農業の盛んなまちであることをPRしていくことが重要である。

問 流れは集約化であるが、国連では世界の飢餓撲滅と天然資源の保全において、家族農業こそが持続可能な食糧生産の基盤であると謳っている。集約化の一方で、家族農家、小規模農家も支援していくべきだが。
答 市民生活部長 現在の日本の農業を支えているのが家族経営体である。経営状況や経営目標などを基準とした意欲ある農業者への支援策はある。また、単独での営農継続が難しい場合は集約営農に対し国の補助金あり。

産業振興部設置 吉川市の農業振興に期待

岩田 京子

問 産業振興部設置、農水省の方を招請。開発だけでなく、農業の活性化に大いに期待する。農地はその存在そのものに価値があり、特に洪水防止機能としての吉川市の水田の価値は8800万円。市内外、特に水

田が少ない近隣市等にこの機能をアピールできないか。また、「食べる」「販売」「使う」等の形で吉川産米を応援する仕組みで住民プライドを成就しては、
答 市民生活部長 他自治体への影響など、数値的根拠はないが、洪水防止機能や地下水の滋養機能等、農地の多面的機能が再評価されていることは認識している。紹介された様々な事例は参考にしたい。吉川が優良な農地の多い、農業の盛んなまちであることをPRしていくことが重要である。

問 流れは集約化であるが、国連では世界の飢餓撲滅と天然資源の保全において、家族農業こそが持続可能な食糧生産の基盤であると謳っている。集約化の一方で、家族農家、小規模農家も支援していくべきだが。
答 市民生活部長 現在の日本の農業を支えているのが家族経営体である。経営状況や経営目標などを基準とした意欲ある農業者への支援策はある。また、単独での営農継続が難しい場合は集約営農に対し国の補助金あり。

新庁舎、快適な利用に市民利用の「検討会」を

伊藤 正勝

問 新たな歴史を刻むとき。新庁舎で何が変わりますか。
答 総務部長 コンパクトながら災害に強く機能的庁舎に。総合案内の配置などわかりやすい誘

導。太陽光発電や雨水利用での環境負荷低減。執務室は行政需要の変化に対応しやすい空間とし、プライバシーにも配慮したスペースで市民サービスも向上します。
問 開かれた庁舎。10の会議室開放など、7月から業務に支障ない限り貸し出すとの方針が示された。使用の基準は既存の公用施設とのすり合わせをしたうえでのことか。
答 総務部長 庁舎は行政財産で公共施設とは異なる。貸出基準は規則で定めます。

問 この機会に公民館やおあしすを含め市民利用促進の見地で総合的「見直し検討の会」を発足し飲食の規制緩和など市民目線での改善を図っては如何か。
答 総務部長 使用料の比較検討はしているが改めて市民参加での検討会設置は考えていない。
問 市長に「再考を求めるとともに、庁舎前バス停は運動公園側も歩道を削って安全な乗降を確保してほしい。
答 総務部長 道路構造令上では必要な道路に該当していない。県管理の調整池であり、県との協議も必要になる。

はーとふるぽつとの店舗継続を

小林 昭子

問 市民にも開かれた場所をもつ事はとても重要と考えるが。
答 市長 働く場がある事、賃

金、就労がしつかりある事が第一。はーとふるぽつとを無しにする事、出ていく事が前提で始まったわけではない。様々提案し、市役所の中でという事を選択された。今後、就労を考える検討会を立ち上げ、古い庁舎跡地の活用、公共の土地を含め考える。箱物の重要性は感じている。

◆ランドセルの重さと健康
問 現状について。
答 教育長 一年生で4kg、2〜5年生5kg、6年生で7kgでした。適正な重さは体重の10%〜20%とされている。適切な重さとなる様家庭とも連携を図る。
◆街にやさしい障がい者施策を
問 ヘルプカードは全員に
答 こども福祉部長 対象者3千名のうち270名に配布。年度替りに3百名に配布できる。今後も徐々に広げていきたい。

問 聴覚障害者に防災ベストを
答 こども福祉部長 今後有効性が確認されれば検討したい。
問 公共交通等へ対応の支援を
答 こども福祉部長 平成28年障がい者差別解消法が施行され事業者に対して合理的配慮が求められるっており、差別解消法の促進の学習会を開催する。



常任委員会の審査から

議案や請願は詳細に審査するため、担当常任委員会に委ねられ、専門的に審査されます。主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務水道常任委員会

◆吉川市部設置条例の一部を改正する条例

12月に否決された条例との違いと、今回の趣旨は。

教育から市長部局へ文化を移管すること、産業振興部を設置することを掲げていた。文化の移管については、関係団体との協議が必要と判断した。今回は産業振興条例とあわせて推進したいとの考えから、産業振興部の設置のみ再度提案した。

賛成全員で可決

◆吉川市職員の給与に関する条例及び吉川市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
年齢別の改定内容について。全体の平均で0・2%の引き

上げ。初任給や若手職員などは月額1000円の引き上げ。その他は月額400円の引き上げ。

賛成全員で可決

◆平成29年度一般会計補正予算

庁舎建設に関わる費用と2016年4月に報告を受けた、48億1700万円の関係について。建設費36億2441万円、施工管理委託料5500万円、その他の事業費が4億1000万円ほど。48億1700万円に対応するのが、36億2441万円。

賛成全員で可決

◆平成30年度一般会計予算

職員管理費の研修費について。一般研修と、災害時対応研修、意識向上研修組織力向上などの特別研修、自治大学・市町村アカデミーなどの派遣研修がある。

賛成多数で可決

文教福祉常任委員会

◆平成29年度一般会計補正予算

国際宇宙ステーション事業を児童館で開催予定とのことだが、300〜400人では親子で150組程しか参加できない。もっと広い会場での開催は考えられなかったのか。

開館以来、プラネタリウムや天体観望室を備える施設として天体事業に力を入れてきた児童館30周年事業。報道機関にも周

知し広くアピールしていく。

賛成全員で可決

◆平成30年度一般会計予算

こども発達センターが保健センター2階へ移転し療育スペースを確保し、専門的なりハビリを行うとの事だが、具体的には複数の教室を設け、障がい特性にあつたプログラムを提供し、大型の感覚統合遊具を配備し、療育に特化した事業を行う。

健康増進事業に川村学園との共同で市民向け健康メニューガイド作成とあるが、どういふものなのか。

市民の食育の一環で健康的なメニューを作成する。カロリーや塩分、合わせて地場農産物を使用したメニュー、一週間単位のメニューや食品ロスに配慮したメニューなど吉川市独自のものを作成し市民へおすすめる。学校支援委員の配置と内容及び勤務時間については。

市内小中学校11校に配置する。が詳細が決まり次第実施する。内容はこれまで教員が行っていたプリントの印刷や掲示物の作成。月曜日から金曜日、一日数時間。

委員より「市民交流センターおあしす」の改修費を削除する修正案が出され提案理由の説明、質疑がされた。

修正案は、

賛成多数で可決

修正案部分を除く原案は、賛成多数で可決

建設生活常任委員会

◆吉川市における幸福実感向上を目指したまちづくりのための産業振興基本条例

吉川市独自の内容とは何か。事業者・勤労者・市民・市の四者が一体となって取り組んでいくこと、職住近接を図ること、学校の役割として事業者の協力のもと職場見学や職場体験を実施し、子供達の勤労観を育成していくことなどがあげられる。

賛成全員で可決

◆平成29年度一般会計補正予算

関公園再整備設計業務委託事業について
アスレチック遊具を調べる中で「ASE」の遊具があり、専門的に研究している筑波大学に相談をしていた。「宇宙桜の植樹事業」が加わったり、公園内の植樹に対しての提案もいたただけるようになったため、正式にランドデザインの設計を委託するものである。

賛成全員で可決



現地視察のようす

◆平成30年度一般会計予算

農業者・農産物PR冊子制作事業の内容と制作後の活用方法は
農業という職業の魅力、吉川の農業の魅力をPRする事を目的とし、農業の担い手確保につながるよう活用していく。

賛成多数で可決

◆平成30年度吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

企業誘致活動業務支援業務委託の内容は
当地区のPR活動などで企業と意見交換を行ってきた。平成30年度は進出に興味を持つ企業と更に意見交換を重ね、平成31年度に予定している企業公募の条件整理を行う。

賛成全員で可決

常任委員会等の構成が変わりました！

常任委員会の任期満了に伴う臨時会を2月5日に開催し、新たな構成が決まりました。

- ◆総務水道常任委員会 (◎=委員長、○=副委員長)
◎降旗聡、○小林昭子、戸田馨、遠藤義法、吉川敏幸、齋藤詔治、五十嵐恵千子、中嶋通治
- ◆文教福祉常任委員会
◎小野潔、○林美希、濱田美弥、雪田きよみ、稲垣茂行、松崎誠
- ◆建設生活常任委員会
◎稲葉剛治、○加藤克明、互金次郎、岩田京子、伊藤正勝、佐藤清治
- ◆議会運営委員会
◎松崎誠、○遠藤義法、稲葉剛治、互金次郎、雪田きよみ、稲垣茂行、齋藤詔治
- ◆議会広報委員会
◎林美希、○吉川敏幸、互金次郎、濱田美弥、稲垣茂行、小林昭子、五十嵐恵千子、中嶋通治
- ◆東埼玉資源環境組合議会議員
中嶋通治、稲葉剛治、小野潔
- ◆吉川松伏消防組合議会議員
戸田馨、互金次郎、降旗聡、加藤克明、佐藤清治
- ◆江戸川水防事務組合議会議員
雪田きよみ、稲垣茂行、松崎誠



3月定例会 審議結果

《市長提出議案》

○=賛成、×=反対、議=議長（議決には加わりません）、◎=議案提出者

Table with columns for '議案名' and various council members (市民の会・無所属, 自民, 共産, 公明, 未来会議). Rows list various municipal ordinances and budget items.

《議員提出議案》

Table with columns for '議案名' and various council members. Rows list proposals from council members regarding budget amendments and other issues.

*会派名の「共産」は「日本共産党吉川市議員団」、「公明」は「公明党吉川市議員団」、「自民」は「自由民主党吉川市議員団」、「未来会議」は「未来会議よしかわ」の略です。
**2は※1の一部についての修正案です。

編集後記
新緑が目には鮮やかな、清々しい季節となりました。26日間に渡り開催された3月定例会。2月の臨時議会では、新たに正副議長が選出され、各委員会の構成も再編されました。それに伴い、新たな議会広報委員会も構成され、初めての発行を迎えることとなりました。
市民の皆様にも、今まで以上に親しまれ、関心を持って読んで頂ける『議会だより』を目指し、様々な角度から物事を見つめ、意見を交わし、市議会の情報をよりわかり易くお伝えできるよう一丸となって取り組んで参ります。
今後とも、『議会だより』をご愛読下さいますようお願い申し上げます。
吉川 敏幸

議会を傍聴しませんか？
次回定例会の予定
6月1日(金) 本会議【開会日・議案上程】
6月5日(火) 本会議【議案審議】
6月6日(水) 委員会【総務水道・建設生活】
6月7日(木) 委員会【文教福祉】
6月8日(金) 委員会【請願審査】
6月12日(火) 本会議【委員長報告】
6月13日(水) 本会議【一般質問】
6月14日(木) 本会議【一般質問】
6月15日(金) 本会議【一般質問・閉会日】

